

日本生物物理学会北海道支部会 講演会のお知らせ

日 時： 平成 19 年 12 月 10 日（月） 15 時 00 分～16 時 00 分

場 所： 北海道大学工学部 A 棟 3 階 A3-62（物理工学系会議室 1）

講 師： 青木 直人 准教授
(三重大学大学院 生物資源学研究科)

講演題目： 脂肪細胞は様々な生理活性物質を分泌する内分泌細胞である
ーアディポサイトカインとアディポソームー

講演要旨：

脂肪細胞 (adipocyte) は、過剰に摂取したエネルギーを中性脂肪 (トリグリセライド: triglyceride) の形で蓄積する単なる “静的で無駄な貯蔵庫” ではなく、生体のエネルギー代謝状況に応じてアディポネクチン (adiponectin) をはじめとする一連の機能性分子 (アディポサイトカイン: adipocytokine) を盛んに分泌する “動的で必要不可欠な内分泌細胞” である。我々はアディポサイトカインに加え、脂肪細胞が脂質とタンパク質に富む膜小胞 (アディポソーム: adiposome) を盛んに分泌することを見出した。今回は生化学的、形態学的手法を駆使してその同定に至った経緯、明らかになりつつある分泌制御機構を中心に紹介するとともに、今や誰もが知るメタボリックシンドローム (metabolic syndrome: 通称メタボ) 病態への関与の可能性についても触れたい。

連絡先： 北海道大学大学院 工学研究科
永山 昌史

Tel: 011-706-6637
macci@eng.hokudai.ac.jp